



图书基本信息



内容概要

傑作ぞろいと言われる岡崎京子作品のなかでも、誰もが「代表作」と言い切る作品。90年代はじめの「都会」に生きる高校生たちの姿を描く。

河口にほど近く、広く、ゆっくりと澱む河。

セイタカアワダチソウが茂るその河原で、いじめられっこの山田は、腐りゆく死体を発見する。

「自分が生きてるのか死んでるのかいつもわからないけど / この死体をみると勇気が出るんだ」。

過食しては吐く行為を繰り返すモデルのこずえもまた、この死体を愛していた。

ふたりは、いつも率直で、「かわいい」ハルナにだけは心を許している。

山田を執拗にいじめ抜くハルナの恋人、一方通行の好意を山田に寄せる少女、父親のわからない子どもを妊娠するハルナの友人。

それぞれに重い状況を抱えた高校生たちがからみ合いながら物語は進行する。

そして、新たな死体が、ひとつ生まれる。

本書は、93年から94年にかけて雑誌「CUTiE」で連載され、94年6月に単行本化されたものの愛蔵版である。

発表当時から多くの若者の心をとらえ、何年経ってもその評価が揺らぐことはなく、新たな読者を獲得し続けている。

もちろん「若者」であっても、共感できる人もいれば、できない人もいるはずだ。

だがはっきりと言えるのは、本書が「読み物」としての興奮を存分に読者に与えてくれるものだということ。

痛ましく、凄まじいこの物語に、きっちりと「おとしまえ」をつけて描き上げることのできる著者の圧倒的な力量には、誰もが魅せられるはずだ



版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>